

令和7年度 第2回 富塚西小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時： 令和7年9月19日（金） 13時30分から15時30分まで
（13時30分から13時45分まで授業参観）
- 2 開催場所： 富塚西小学校 会議室
- 3 出席委員： 安間忠雄、鈴木和明、中野聡彦、池谷守司、鈴木義勝、市来優奈、神村浩子、
吉川恵美
- 4 欠席委員： 岩渕千江
- 5 オブザーバー： 浜松市議会議員 関イチロー
- 6 学 校： 稲田晴彦（校長）、野口万希子（教頭）、高柳 翼（教務主任）、
坂口千佳（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者： 1名
- 8 会議録作成者 CSディレクター 坂口千佳

9 議長の選出

司会の吉川委員から、議長の選出について委員に意見をもとめたところ、吉川委員から会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

テーマ「地域・保護者との連携による いじめ未然防止策」

11 会議記録

司会から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 地域・保護者との連携による いじめ未然防止策について

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき、本校のいじめ防止基本方針、学校支援の現状、いじめ防止の取り組みについての報告があった。

(2) グループ協議

上記の教頭からのいじめ未然防止策の報告を参考に、委員が2つのグループに分かれ、地域や保護者が学校と連携してできるいじめ未然防止策について協議をおこなった。協議の中で出された意見は下記の通りである。

Aグループ（安間委員、鈴木和明委員、市来委員、稲田校長、今田教諭）

・子供が、相手が嫌がるような強い言葉を使うことがある。そのような言葉は、家庭で保護者が使っていたり、SNSやテレビから覚えてしまったりすると思うのだが、家庭では保護者が意識して言葉遣いを改める必要があると思う。また、注意する時には、頭から言葉遣いをダメと否定するのではなく、そういう言葉を使うと相手はどう思うのか、その言葉に代わる言葉があるのではないか、

など子供自身に考えさせ、成長に繋がれるといい。

- ・学校で先生が子供に指導した時には、どんな言葉でどのように指導をしたのかを、もっと保護者に具体的に伝えてもらえると家庭でも意識して教育ができるのではないかな。
- ・休み時間に子供たちを見守る「遊びイベント」の規模をもっと広げて、「休み時間参観会」を設け、大勢の保護者で見守りができたらいいのでは。

Bグループ(吉川委員、中野委員、池谷委員、鈴木義勝委員、神村委員、伊藤教諭)

- ・浜松市や学校では、いじめ防止の為に様々な取り組みを行っている。それをもっと保護者に周知した方が良く感じる。10月に参観会があるので、さくら連絡網で送ったいじめ防止の資料の内容について、全体を集め直接言葉で訴えるか、もしくは各クラスの懇談会の中で取り上げるとよいのではないかな。学校と保護者をもっと考えを共有して子育てができたらいい。
- ・コロナの前には、教育についての講演会があったが、今はほとんどなくなってしまった。PTAや自治会にご協力いただき、以前のような講演会を開催して欲しい。子供の教育について悩んでも、忙しい毎日の中で流れてしまっている保護者にとって、一度立ち止まって教育について考える良い機会になるのではないかなと思う。
- ・地域の民生委員の方々に、もっと学校に入ってもらっていただき、生徒の見守りや指導を行ってもらうのが良いのではないかな。

(3)全体熟議

各グループの意見を聞き、委員から次の意見があった。

- ・休み時間の参観会を定期的で開催できたらいい。また、学校や家庭で、子供が強い言葉を使ってしまったら、否定するだけでなく、その言葉に変わるやわらかい言葉を一緒に見つけられるような雰囲気を作って欲しいと感じる。(安間委員)
 - ・「いじめ」というのは、相手との感情の行き違いなので、お互いのことをもっと理解できれば、いじめはなくなると思う。子供たちには、遊びを通してお互いをより理解して欲しい。(池谷委員)
 - ・いじめのアンケートはいじめの把握に有効なことなので、継続して定期的に行って欲しい。また、児童や教師、保護者が、もっとオープンに相談できる環境づくりが必要だと感じる。(鈴木義勝委員)
 - ・いじめられる側のカウンセリングだけでなく、いじめる側のカウンセリングも丁寧に行って欲しい。いじめの相手に対しての問題ではなく、根本的な原因が他にあり、心理的なストレスを抱えているのかもしれない。(市来委員)
 - ・いじめアンケートの後に、個別に丁寧に面談を行っているのがとても良いと思う。また、地域には、いつでも相談できる民生委員が近くにいるということを周知してもらえると、私達民生委員も動きやすいので知らせてほしい。(神村委員)
 - ・守秘義務をきちんと持っている民生委員に、日常的に学校に来ていただき、授業中の教室を回り、静かに座ってられない子には声を掛けてもらうなどして欲しい。また、休み時間の参観だけでなく、いつでも参観できるようなもっとオープンな学校にして欲しい。(吉川委員)
- いろいろな立場のご意見を聞くことができ、とてもありがたい。完全に学校をオープンにするのは不審者などの問題もあるので難しいが、できる範囲で開いた学校にしていきたい。(稲田校長)

12 報告

吉川委員から「夏休みとみっこ寺子屋」の活動報告があった。

7月23・24日に西会館、新屋集会所の2か所で2日間ずつ行った。どちらも30人近くの児童が元気に夏休みの宿題をもって来てくれた。学年関係なく友達同士で勉強に取り組む姿が見られた。

13 連絡事項

(1)自治会より(安間委員)

10月5日(日)に富塚西小学校区「町民体育のつどい」を行う予定である。ぜひご参加して欲しい。

(2)PTAより(鈴木義勝委員)

1学期に行ったわくサマは、351名もの児童の参加があり楽しんでもらえた。2学期は、町民体育のつどいのお手伝いと、11月に奉仕作業。3学期には、講演会を予定している。

(3)今後の予定

校長から、次回会議は、令和7年11月21日(金)13:30から1階会議室で開催する旨の報告があった。